

株主の皆様へ

第59期 中間報告書

2025年4月1日～2025年9月30日

株式会社 **オビック**

証券コード:4684

大手・中堅企業への提案活動を強化 お客様のビジネスパートナーとして、更なる成長へ

株主の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素より格別のご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

当社の第59期中間期(2025年4月1日～9月30日)の事業概要及び実績をご報告するにあたり、ひと言ご挨拶申し上げます。

今期は米国の通商政策や物価上昇の継続、金融資本市場の変動等による景気減速懸念が強まる中、企業の生産性向上や業務効率化を目的としたシステム投資需要が強まりました。

このような状況の下、当社は自社開発・直接販売や製販サービス一体体制でお客様企業の経営効果を最大限に引き出せるよう社員一丸となって取り組んだ結果、売上高・営業利益・経常利益はいずれも過去最高を記録し、営業利益は25期連続で増益を達成いたしました。

当社は創業以来「お客様第一主義」を掲げ、会計や人事・給与、販売管理、生産管理を中心とした経営基幹情報システムを自社運営のOBIC7クラウドで提供しております。今期は大手・中堅企業様向けに提案活動を強化し、幅広い業種・業界のお客様から引き合いを頂いた結果、システム構築の売上高に占める新規のお客様の割合は7割程度まで高まりました。

また、ビジネス環境の変化に対して迅速に対応可能なOBIC7クラウドサービスは多くの引き合いを頂き、お客様へのOBIC7クラウド導入比率は90%を超えました。

当社が取得に力を入れるビジネスモデル特許は、9月末に出願件数2,200件、登録件数1,000件を突破し、お客様の事業課題の解決を実現する仕組みとして高い評価を頂いております。

今後もお客様のビジネスパートナーとして、価値ある情報システムの提供に邁進してまいります。

どうか今後とも倍旧のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役会長／CEO

野田 順弘



代表取締役社長／COO

橘 昇一

中間決算概況

おかげさまで当中間期も、過去最高の業績を更新いたしました

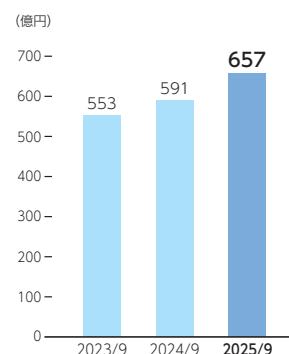
当情報サービス業界においては、企業のデジタル変革(DX)への取組などを背景に、企業の生産性向上や業務効率化を目的としたシステムの更新投資需要は引き続き高い状態にあるものの、先行き不透明な景況感の中で投資判断には慎重さが見られました。企業のニーズは「効率的でコストパフォーマンスの高い情報システム」にあり、更なる顧客目線でのシステム提案が求められています。

当社は、このような状況の中、自社開発・直接販売にこだわり続け、顧客企業の経営効果を実現するため、製販サービス一体体制のもと顧客満足度を高めるべく努めてまいりました。当社の主力である統合業務ソフトウェア「OBIC7シリーズ」は、会計を中心に統合的に情報を管理するERPシステムとして、製造・流通・サービス・金融等、様々な業種・業界の大手・中堅企業からシステム構築の引き合いが強りました。

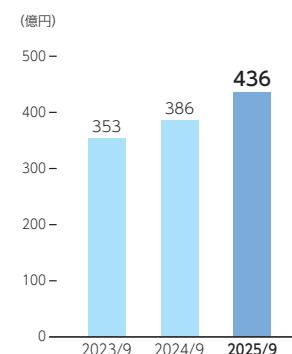
システムの早期稼働につながりやすく、グループ全体の最適化やビジネス環境の変化にもスピーディに対応できるクラウドサービスのニーズについても、自社運営のクラウドセンターで提供し対応しております。また、クラウド関連施設等の設備増強やビジネスモデル特許の登録・出願、健康経営の取組の推進など、安定的な事業継続や当社の持続的成長につながる先行投資も継続して進めてまいりました。

この結果、当中間連結会計期間の連結業績は、売上高は657億84百万円(前年同中間期比11.2%増)、営業利益は436億55百万円(同13.0%増)、経常利益は522億28百万円(同17.3%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は373億3百万円(同16.4%増)となりました。

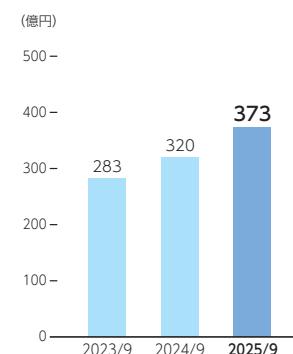
▶ 売上高



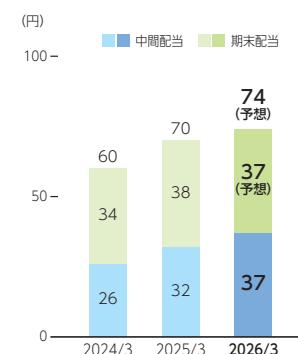
▶ 営業利益



▶ 中間純利益



▶ 1株当たり配当金*



*2024年9月30日を基準日とし、2024年10月1日付で普通株式1株につき5株の株式分割を行っております。配当金額は2023年4月に株式分割が行われたと仮定して算出しています。

営業の概況

当社グループは、株式会社オービック(当社)及び連結子会社1社ならびに関連会社2社等により構成されており、事業は主に企業情報システムのシステムインテグレーション(SI)事業、システムサポート(SS)事業、オフィスオートメーション(OA)事業及び業務用パッケージソフト(PKG)事業を行っております。

なお、業務用パッケージソフト(PKG)事業については、関連会社で行っているため、事業のセグメントには含まれておりません。

システムインテグレーション(SI)事業

売上高 **273億30百万円**

前年同中間期比 10.2% 

営業利益 **166億86百万円**

前年同中間期比 10.3% 

主力の統合業務ソフトウェア「OBIC7シリーズ」は、統合的に情報を管理するERPシステムとして、様々な業種・業界の企業に求められました。主な傾向として、大手・中堅企業への新規顧客開拓が進み、付加価値の高い「OBIC7シリーズ」のシステム構築売上が堅調に推移いたしました。

この結果、外部顧客に対する売上高は273億30百万円(前年同中間期比10.2%増)、営業利益は166億86百万円(同10.3%増)となりました。



システムサポート(SS)事業

売上高 **344億99百万円**

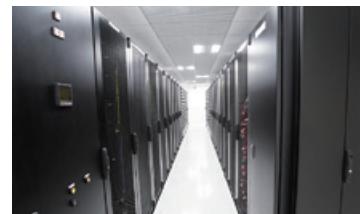
前年同中間期比 12.9% 

営業利益 **256億21百万円**

前年同中間期比 15.2% 

主力のクラウドソリューションを中心に、ソフトウェア及びハードウェアの「運用支援・保守サービス等」が好調に推移いたしました。

この結果、外部顧客に対する売上高は344億99百万円(前年同中間期比12.9%増)、営業利益は256億21百万円(同15.2%増)となりました。



クラウドセンター

オフィスオートメーション(OA)事業

売上高 **39億55百万円**

前年同中間期比 4.0% 

営業利益 **13億47百万円**

前年同中間期比 6.0% 

中小企業を中心に主力の業務用パッケージソフトのクラウド製品の販売が堅調に推移いたしました。

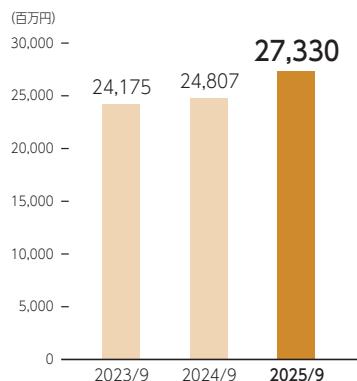
この結果、外部顧客に対する売上高は39億55百万円(前年同中間期比4.0%増)、営業利益は13億47百万円(同6.0%増)となりました。



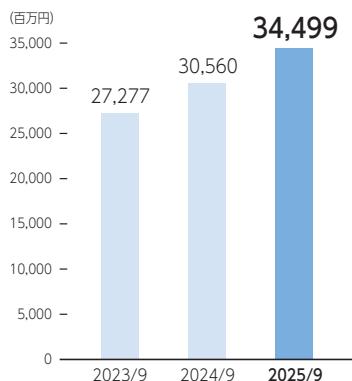
奉行クラウド

事業別売上高推移

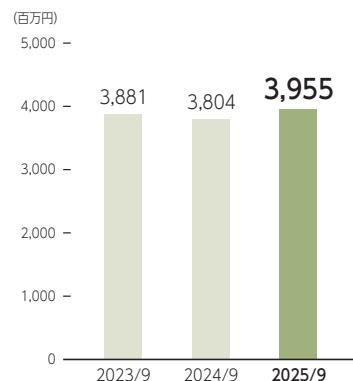
システムインテグレーション
(SI)事業



システムサポート
(SS)事業

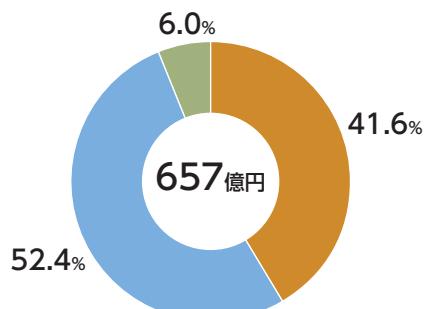


オフィスオートメーション
(OA)事業



売上高構成比

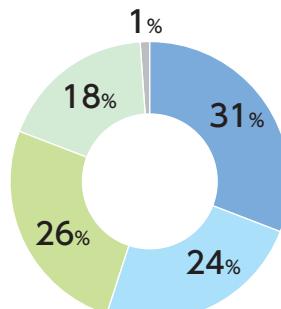
- システムインテグレーション (SI) 事業
- システムサポート (SS) 事業
- オフィスオートメーション (OA) 事業



販売先情報

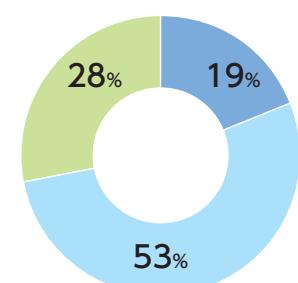
業種別

- 製造業
- 流通業
- サービス業
- 金融業
- その他



規模別

- 年商100億円未満
- 年商100億円以上1,000億円未満
- 年商1,000億円以上



※システムインテグレーション事業の売上高ベース

事業概況／ワンストップ・ソリューション・サービス

➤1社ですべて解決 経営効果の最大化を全力支援

オービック独自のビジネスモデル「ワンストップ・ソリューション・サービス」はシステム導入のコンサルティングから企画・設計、構築、運用・保守まで、他社を一切介さず、すべて自社開発・直接販売・自社サポートで一貫して提供します。直接販売で得た様々な業界・業務の知識とノウハウを蓄積し、システム企画・構築に反映。お客様サポートにも役立てております。業界最高水準のセキュリティ基準を確保したクラウド環境は、新システムの早期・安定稼働を実現します。



お客様と向き合う関係を大切にする 「自社開発」「直接販売」

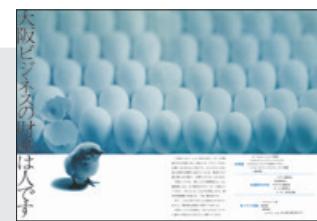
「自社開発」と「直接販売」にこだわり続け、エンドユーザーであるお客様と直接向き合うことで、変化を続けるお客様の課題やニーズをタイムリーに把握し、常に最適なソリューションをご提供します。

導入後の継続的改善まで 「自社一貫体制」でサポート

導入のコンサルティングからシステム企画・設計・開発、クラウド環境などのインフラ、稼働、導入後のサポート、情報提供まで、IT活用のプロセスのすべてを「自社一貫体制」でご提供します。

新卒採用

当社の社員は、新卒採用のみ。社員の技術・スキルや提案力、コミュニケーション力をじっくりと時間をかけて育成することで、顧客の経営課題に対して最適な解決策を提供できるよう努めています。



「大阪ビジネスの財産は人です」
(1973年の会社案内より)

主力製品／統合業務ソフトウェア「OBIC7シリーズ」

OBIC7で企業経営を強くする

累計で2万8千社が導入、ERP市場ベンダーシェア1位を獲得*

*出典：ITR「ITR Market View：ERP市場2025」

高い経営効果

業界・業務ノウハウを詰め込んだソリューション。
属人化の解消・内部統制強化・セキュリティ対策など、
様々な経営課題を解決し、持続的な成長を可能にします。

ワンストップソリューション

自社開発・直接販売・自社一貫サポート。
オービックが築き上げた真の「ワンストップソリューション」
が安心と満足をお約束します。

安心のクラウド環境

自社社員のみで運営している安心のクラウド環境で、
すべてのERPを提供。高度で複雑なシステム保守や
セキュリティ対策はオービックにお任せください。

早期安定稼働

システムを短期間で立ち上げ、効果を上げる。
スムーズな導入により、業務の効率化はもちろん、
データ分析による経営判断の迅速化を早期に実現します。

売上高
シェア
1位
ERP市場ベンダーシェア
2023年度 売上金額ベース



当中間期の取組

当中間期もOBIC7クラウド好調 新規契約がさらに伸長

当中間期も連結売上高は前年同中間期比11.2%増の657億円、連結営業利益でも前年同中間期比13.0%増の436億円と、25年連続の最高益となりました。人手不足などで企業の業務効率化ニーズが高まっていることを背景に、特に中堅・大手企業を中心にOBIC7クラウドの新規契約が伸長したことが業績に貢献しております。

OBIC7クラウドは各業種・業界向けの豊富なソリューションを高いセキュリティ水準のクラウド環境でご利用頂けるサービスで、お客様のビジネス環境の変化にもオービックがワンストップで柔軟に対応できます。また、サポートの際にはエンジニアがお客様の拠点に出向く必要がないため、社員の生産性も向上しております。

今後もOBIC7クラウドのサービス強化に努めてまいります。



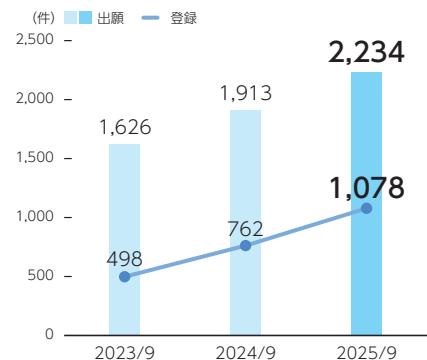
特許登録件数が1,000件超え ソリューションの付加価値を向上

当社はシステムの競争力を高めるため、戦略的にビジネスモデル特許の取得を進めております。業種・業界のマーケティングに沿った製品・サービスの強化や社員教育といった、営業・マーケティング・開発など様々な戦略のフローの中にビジネスモデル特許の取得プロセスを組み込み、お客様にとって価値のある特許の取得に取り組んでいます。今期より人工知能(AI)活用に向けた専門組織を立ち上げて、関連特許の出願に注力しております。

この結果、2025年9月末時点での登録件数は1年前から4割増え、ついに累計1,000件の大台を超えるました。

今後も特許技術の積極的な利活用と社員の継続的なイノベーションの推進によって、より付加価値の高いサービス提供と持続可能な社会への貢献に努めてまいります。

■ 特許出願/登録累計数



京橋エリア新ビルに入居 本社面積を3割拡張

2025年8月中旬より、本社隣に新設された木造オフィスビルの主要テナントとして入居いたしました。社員が執務するスペースの面積は従来比で3割増加しております。

新オフィスには、エンジニアなどの開発部隊や業務用パッケージソフトの販売を手掛ける子会社が入居しました。開発部隊は本社から徒歩3分の距離にあったビルから移転したこと、本社に在席する営業やシステムエンジニア、管理部門などと物理的な距離が縮まりました。また、企業のデジタル化のニーズを背景に好調なシステムへの引き合いへ対応するため、中長期の採用人数の拡大にも備えております。

今後とも社員が働きやすい環境整備を推進し、より一層製販管一体のサービス体制の質を上げていけるように努めてまいります。



統合報告書2025をリリース

2025年8月に統合報告書2025をリリースいたしました。

当社の企業理念や経営戦略、今までの歩みから直近の取組まで
体系的に整理した冊子となっております。

事業に関する内容のほか、人材育成や知財・環境・ガバナンスに
関する取組についても記載し、当社についてより深く知って頂ける
内容となっております。是非ご覧ください。



* Webサイトにも掲載しております



<https://www.obic.co.jp/pressrelease/assets/pdf/ir2025.pdf>

会社概況 (2025年9月30日現在)

社名	株式会社オービック
設立	1968年4月8日
資本金	191億7,880万円
社員数	2,311名(連結)
主要事業	システムインテグレーション事業 システムサポート事業 オフィスオートメーション事業
事業所	東京本社 大阪本社 横浜支店 名古屋支店 京都支店 福岡支店 北関東支店 松本営業所
グループ会社	株式会社オービックオフィスオートメーション 株式会社オービックビジネスコンサルタント 株式会社オービーシステム

役員 (2025年9月30日現在)

代表取締役会長	野田 順弘
代表取締役社長	橘 昇一
常務取締役	藤本 隆夫
常務取締役	岡田 雄
取締役	花田 裕太
社外取締役	五味 康昌
社外取締役	江尻 降
社外取締役	江上 美芽
常勤監査役	叶谷 真嗣
社外監査役	田中 健夫
社外監査役	山田 重嗣

株式の状況 (2025年9月30日現在)

●発行可能株式総数	1,992,000,000株	
●発行済株式の総数	498,000,000株	
●株主数	9,343名	
●外国人持株数	179,579,371株	
●少数特定者持株数	296,490,383株	
●浮動株数 (1単元以上50単元未満の合計)	3,339,442株	
●投資信託株数	35,300,700株	
●年金信託株数	3,554,247株	
●大株主		
株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社MNホールディングス	84,545	19.21
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	65,924	14.98
株式会社日本カストディ銀行	25,412	5.77
野田 順弘	14,405	3.27
野田 みづき	13,905	3.16
ステートストリートバンク アンド トラストカンパニー 505103	10,124	2.30
ステートストリートバンク アンド トラストカンパニー 505001	8,190	1.86
ステートストリートバンク ウエスト クライアントリーティー 505234	7,885	1.79
ステートストリートバンク アンド トラストカンパニー 505223	7,775	1.76
ジエーピー モルガン チェース バンク 385632	5,899	1.34

(注) 1.当社の所有する自己株式58,084千株は、上記の表には含めておりません。

2.上記信託銀行の持株数には、信託業務に係る株式を含んでおります。

3.持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領株主確定日	毎年3月31日
中間配当金受領株主確定日	毎年9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	
同連絡先	東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711 (フリーダイヤル) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所
公告方法	電子公告により行う 公告掲載 URL www.obic.co.jp



Webサイトのお知らせ

当社のWebサイトでは、IR情報をはじめとして様々な情報を掲載しております。
今後も引き続き、当社の様々な魅力をお伝えするメディアとして、迅速な情報発信やコンテンツの拡充を進めていきます。



<https://www.obic.co.jp/>

▼Webサイトは
こちらから



<https://www.obic.co.jp/ir/>

▼IRサイトは
こちらから



<https://koekiku.jp>

アクセスキー



株主アンケートにご協力ください

ご回答頂いた方の中から抽選で薄謝を進呈させて頂きます。

本アンケートは、株式会社プロネクサスの提供する「コエキク」サービスにより実施いたします。
アンケートのお問い合わせ「コエキク事務局」 koekiku@pronexus.co.jp



photo by ©Hideki Ishihara

株式会社 **オービック**

Web サイト www.obic.co.jp

東京…〒104-8328 東京都中央区京橋 2-4-15 (オービックビル)

TEL 03-3245-6500

大阪…〒541-0046 大阪市中央区平野町 4-2-3 (オービック御堂筋ビル) TEL 06-6201-3231